

台風18号災害で構成組織・地協でボランティア活動 災害義援金を募集 ご協力をお願いします



9月15日～17日にかけて、台風18号による大雨に関する特別警報が県下全域に発令されるなどの記録的豪雨により、甚大な被害をもたらしました。

連合滋賀各構成組織・地域協議会では、特に被害が甚大であった高島市、大津市、甲賀市へ9月20日～30日にボランティア派遣を行い、のべ123人が被災地域での復旧活動を実施しました。

滋賀県では、台風18号にかかる災害対策につい



て、国に対して、激甚災害としての指定、財政措置の要望を行い、10月4日に閣議決定されました。

この災害により、亡くなったり重傷を負った方、住家が全壊・半壊したり床上浸水した方への一助として、連合滋賀としても義援金に協力することとし、各構成組織においても、義援金を幅広く募集し、被害を受けた方の早期の回復、元の生活に戻られることを願い財政支援を行います。

滋賀県特定(産業別) 最低賃金が改定されます

滋賀県特定(産業別)最低賃金が改定され、12月29日(予定)から発効します。

最低賃金は、賃金の最低額を保障することによって、労働条件の改善を図り、労働者の生活の安定、労働力の質的向上および事業の公正な競争の確保に資するとともに、国民経済の健全な発展に寄与することにより、特定(産業別)最低賃金制度は労使交渉を補完・代替する機能を有し、基幹的労働者の最低賃率を形成することによって、事業の公正な競争の確保に寄与しています。

各専門部会では、ともに4回の審議が行われ、労働側が「生活の厳しさ」「生活できる賃金」「経済成長への貢献」などを訴えたのに対し、使用者側は「先行きは不透明」「中小零細企業の経営は厳しい」など厳しい回答を主張、労使の水準には大きな隔たりのある中でギリギリの交渉が行われ、結審しました。

特定(産業別)最低賃金	
産業区分	改定後の最低賃金 (時間/円)
新繊維工業	750円
窯業・土石製品製造業	836円
一般機械器具製造業	835円
精密・電気機械器具製造業	818円
各種商品小売業	765円
自動車・同付属品製造業	839円
鉄鋼業	775円

連合滋賀は労働者全体の労働条件底上げのために更なる引き上げに向けた取り組み、さらには違法行為の是正に向け活動を行っていきます。



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2013年11月5日
連合滋賀 第247号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部6円)
印刷 ヌメディア株式会社

「政策・制度要求と提言」重点項目について 滋賀県9部局と協議・意見交換を実施

連合滋賀は働く仲間や県民の暮らしを守るため、「働くことを軸とした安心社会」の実現を求めて、各構成組織や地域協議会、労協等の要求や意見を集約し、滋賀県をはじめ各自治体に対する「政策・制度要求と提言」の取り組みを行っています。

9月5日に滋賀県に提出しました「政策・制度要求と提言」は、雇用の安定と地域経済の活性化などの労働政策や、福祉・環境・教育など、12課題57項目におよぶ広範囲なものとなっています。

提出にあたって、羽泉博史商工観光労働部長に「要求と提言」の概要および連合滋賀の考え方や重点施策を説明しました。



10月15日、16日、17日の3日間にわたっての滋賀県の9部局との協議では、議論を豊富化するために各部局での重点項目を設定し、連合滋賀の政策委員・執行委員を中心に活発な意見交換を行いました。

主要な課題については、11月5日に嘉田知事を交えた最重点課題の9項目について総括協議を行います。

なお、各市町に対する「要求と提言」は各地域協議会が取り組みを進めています。



部局協議の重点項目(抜粋)

【総合政策部】 地域主権改革推進、男女平等参画、ワーク・ライフ・バランスの推進、消費者保護行政の推進

【教育委員会】 教育予算の増額、教職員定数の改善、臨時教職員の待遇、障がい児の高校進学保障、特別支援学校の対策、勤労観・職業観の育成

【農政水産部】 地産地消などの消費拡大、環境こだわり農業の拡大、外来業の駆除、琵琶湖漁業の再生、新規就農希望者への支援

【健康福祉部】 医療供給体制の整備、医療福祉職場の人員の確保、介護・高齢者の福祉サービス、児童虐待の防止、子ども子育て支援事業計画の策定

【総務部】 協働型県政の推進、人権施策の推進、事務事業の見直し、マイナンバー制度の導入への対応

【琵琶湖環境部】 ヨシの再生、低炭素社会づくりの推進、3R活動の推進、災害廃棄物広域処理体制、県民協働の森林づくり

【商工観光労働部】 公契約条例の制定、雇用機会の創出、中小企業の人材育成、労協への支援、再生可能エネルギーの振興、マザーズジョブステーションの拡大

【土木交通部】 住宅の耐震化の普及啓発、社会的弱者の住居の確保、滋賀交通ビジョンの策定、鉄道施設の整備、道路整備アクションプログラムの実施

【知事直轄組織】 大規模災害等への対応、防災組織づくりへの支援



北方四島の返還を！ 平和行動 in 根室

今年の平和運動強化期間（6月～9月）の締めくくりとなる「2013平和行動in根室」が9月13日～16日の日程で、根室市で開催されました。



第3区地協 川重冷熱労働組合 岡野貴史

今回の平和活動in根室では、野付半島から根室までを見学し、「北方四島学習会」で北方四島の今を学び、「平和ノサップ集会」で人々の想いと返還に向けた決意の言葉を聞きました。

そこでは、ただの「領土問題」ではなく、人が住む土地としての北方領土の様々な側面を知ることができました。インフラの整備が進み急速に発展する姿、漁業基地としての姿、自然豊かな楽園としての姿に驚く一方で、お墓参りすら満足にできない元島民の故郷を想う気持ちに、このままではいけないと強く感じました。元島民の高齢化が進む中で北方領土問題を少しでも早く解決に導くためには、今回の経験を広げることも含め、問題の認識を高める事が重要だと思いました。

J P 労組滋賀連絡協議会 大澤ひとみ
この度はじめて平和行動 in 根室に参加させていただきました。9月14日(土)北方四島交流センターでの「北方四島学習会」では、北方四島の自然について、北方領土の現状や日本・ロシア両国の動き、返還のための今後の取り組みなどを知ることができました。

講師の方が話されていた世界遺産に登録された知床半島からウラル山脈までを国際公園化し自然を守るという構想など、あらゆる方向から可能性を探っていかねば解決が難しい問題だと痛感しました。9月15日(日)納沙布岬での「2013平和ノサップ集会」は、あいにくの濃い霧で島をみることはできませんでしたが、全国から集まった連合の仲間とともに北方領土返還と平和を願う事ができ、とてもいい経験となりました。



風を吹かせ淡海から 未来へつなげ いのちの架け橋 第46回はたらくものの音楽祭を滋賀で開催

連合滋賀は、5月に日本音楽協議会と合同の「はたらくものの音楽祭滋賀県実行委員会」を結成し、5か月に渡って音楽祭の開催に向けて準備を行ってきました。

開催当日の10月5日(土)～6日(日)には、ピアザ淡海(ピアザホール)に、全国から約250人が集まり、音楽祭が盛大に開催されました。

オープニングでは、おうみ少年少女合唱団の子どもたちによる「わが故郷おうみ」「琵琶湖周航の歌」で幕をあげ、滋賀からも自治労音協滋賀支部や、県教組からも参加されました。

また、全国交流会では、北海道から沖縄までの各都道府県から音楽祭への意気込みや活動の取り組みが紹介されました。

二日間にわたってご協力をいただきました滋賀の実行委員会のスタッフの皆様大変ありがとうございました。



おうみ少年少女合唱団（オープニング）



スタッフとして活躍いただいた実行委員メンバー

日本高齢・退職者団体連合 阿部保吉会長 「退職者連合の課題と取組み」について熱弁をふるう！ 「2013 滋賀県高齢者集会」を開催

10月12日(土) 滋賀ビルにおいて「2013 滋賀県高齢者集会」が各組織から86名の参加で開催されました。講演後の交流会は、なごやかに開催され互いの交流を深めることができました。

講演は日本高齢・退職者団体連合の安倍保吉会長より、「退職者連合の課題と取組み」というテーマでお話しをいただきました。

高齢者の生活の現状や課題、高齢者を取り巻く環境について説明があり、年金、社会保障制度、消費税、復興税、原発、医療制度等、それぞれの課題があげられました。また、日本高齢・退職者団体連合の政策・制度の考え方についても詳しく説明されました。そして「高齢者が今こそ声を上げ、行動を起こしていかなければならない。」と力強く話され、認識をあらたにし、講演の最後は力強いガンバrou三唱で締めくくられました。



世界遺産姫路城を歩こう～不戦の城を訪ねて～ 連合滋賀高齢・退職者団体協議会 秋のハイキング



連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会が持ち回りで開催している秋のハイキングが10月21日(月)に兵庫県で開催となり姫路城にて行われました。今年は前年の参加者を上回る総勢1,613名(内80歳以上150名)と多くの人が集まり賑わう一日となりました。

高齢・退職者の健康維持・増進と、近畿の仲間との交流を深めることを目的として開催されているこのハイキングに連合滋賀からは76名(内80歳以上6名)が参加しました。

参加者は汗ばむ陽気の中、姫路観光ボランティアガイドの説明を聞きながら約2kmを軽快に歩き、また、現在改修中の大天守の修復風景を見学する等、それぞれに秋の姫路城を散策しました。

帰りのバスでは連合滋賀高齢・退職者団体協議会の山森副会長より「来年も皆で元気に秋の京都を歩きましょう。」と挨拶があり、互いの親睦を深められた楽しい一日となりました。